

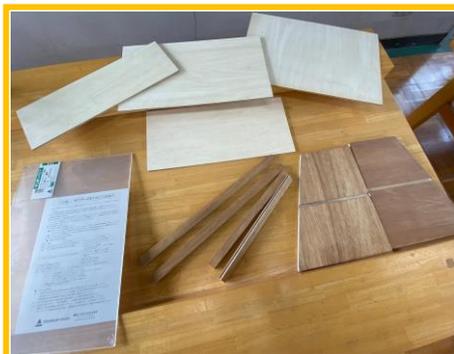
【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	大須賀 嵩典	大学名	愛知教育大学
作品名	カフェにありそうな棚	人数	1名

○製作の動機、目的

キッチンの上に置いてある食器の安定性がなく、安全な食器棚が作りたかった。高さのあるものも置けるような構造にした。

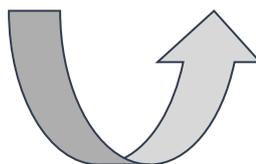
○製作過程



- ◎材料
- ・天板 ・中板 ・底板
 - ・側板(2枚) ・背板
 - ・戸枠 ・アクリル板



完成！！



○利用方法



- ・つまみを持って、戸を開けてお皿などを収納する。
- ・収納するものの高さがある場合、中板をスライドさせて抜くことで、高さのある1段の棚としても利用できる。
- ・天板と戸があるおかげで、棚の中にはほこりが入ることを防いでいる。
- ・戸をアクリル板にしたおかげで、棚に何が入っているかを一目で確認することができる。
- ・450×250×300 というサイズなので、どこでも置きやすく移動させやすい。

○工夫した点

全体の形としては、側板が台形になっていて、戸が開けやすく、おしゃれな見た目に仕上げることができた。戸にアクリル板を使用していて、4つの枠に溝をつけてはめ込むところに力を注いだ。溝という点では、中板を差し込むことに成功し、用途に合わせた使い方ができるようになっている。

すべての面をやすりがけし、角を取っているため、触り心地も良くなっている。蝶番を使用している部分も、ねじが板から出てしまったが、金やすりを使用し、安全に棚を利用できるようにきれいに仕上げることができた。